

オルガノグループは、
水で培った先端技術を駆使して、
未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献します。

水は、地球という惑星に与えられた、命あるものすべてに共通の財産です。

オルガノは創業より水とともにあり、水を理解する心と、水を生かす技術を育み続けています。

生命の源、「水」がもたらす恩恵を、社会の基盤づくりから先端産業、

そして毎日の暮らしの中へ。私たちは、水処理の総合エンジニアリング企業として、

美しい地球環境との共存と共生に貢献していきます。



地球の水資源

地球の水

水の惑星とも言われる地球。宇宙から見ると地球表面の71%が水で覆われています。

地球の水は海や氷河、水蒸気、河川や湖沼、地下水などさまざまな形で存在していますが、その97.5%は海水など塩分を含んでおり、淡水はわずか2.5%、中でも私たちがアクセス可能な地表の淡水は全水量の0.01%にすぎません。

豊富にあるように見えながら、人類にとって水は非常に貴重な資源なのです。



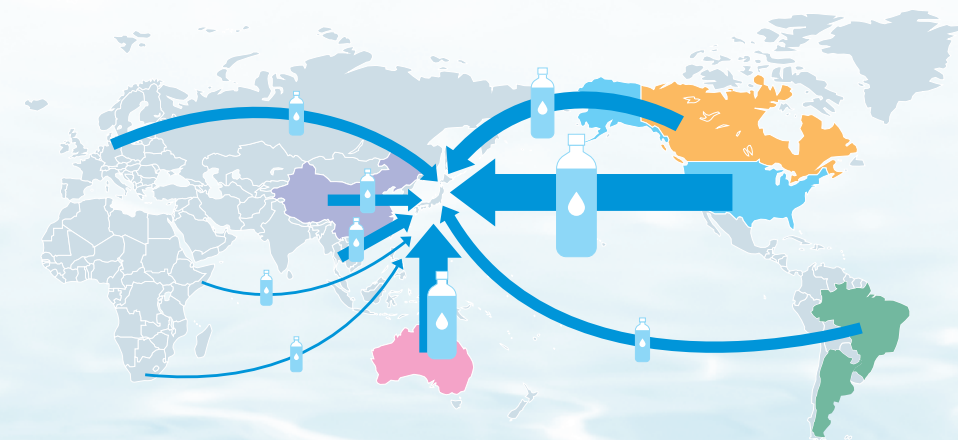
国土交通省「平成21年度版日本の水資源」、US Geological Survey(アメリカ地質調査所)資料を基に当社作成

生命と暮らし、産業と水

世界ではなおも9億人弱が安全な飲料水にアクセスできず、毎年180万人の子供たちが不衛生な水などを原因とする病で命を落としています。さらに気候変動による渇水や洪水など、水資源にまつわる問題は人類の大きな課題と言えます。

日本では幸いにして水資源に恵まれ、産業用水も高い水準で回収・再利用が進むなど効率的な水の利用が進んでいますが、一方で穀物や食料品などの形で年間の水使用量とはほぼ同量のバーチャルウォーター※を輸入するなど、水資源の問題は我々の暮らしにも大きく関わっているのです。当社グループは、我々の水処理技術がこれら水資源の問題解決に向けた一助となることを願い、事業に取り組んでいます。

日本のバーチャルウォーター輸入量イメージ



世界で飲料水に
アクセスできない人数

9億人

不衛生な水などによる病で
命を落とす子供の数

180万人/年

バーチャルウォーター(VW)量

小分類	単位	単位当たりの質量(g)	VW量(ℓ)
牛肉	—	1,000	20,600
米	1合	150	555
コーヒー	1杯	10	210
牛乳	1本	1,000	550
大豆	1カップ	150	375
小麦粉	1カップ	100	210

出典:環境省仮想水計算機

※バーチャルウォーター:食料を輸入している国(消費国)において、もしその輸入食料を生産するとしたら、どの程度の水が必要かを推定したもの(環境省)

オルガノグループの歩み

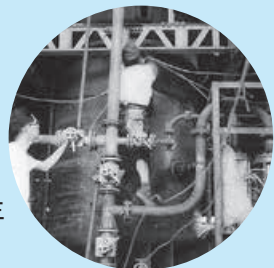
我々は1946年の創業以来、産業と生活に必要なとされる水のニーズに応えてきました。
 オルガノグループの歩みは、水の価値や可能性が拡大してきた歴史でもあります。
 病院や研究所などに向けた無熱蒸留水製造装置の開発に始まり、各種の産業における
 純水・排水の処理設備や、上下水道・発電所などに向けた水処理設備、
 半導体など電子産業に向けた超純水設備など、幅広い水処理装置・技術を手掛け、
 国内外で産業や日々の暮らしの発展を側面から支える
 役割を担っています。

創業

1946年
 小型純水装置(無熱蒸留水
 製造装置)を開発



1951年
 国内初の
 大型純水装置を納入



1953年
 糖特殊液精製分野に展開



1954年
 水処理
 薬品事業を
 開始



1957年
 国内初の
 電子産業向け
 超純水装置を納入

1959年
 上下水道
 分野に展開



1959年
 食品事業を
 開始



1966年
 発電所向けの
 大型水処理プラント納入



1984年
 医薬品製造分野に展開



1986年
 総合研究所開設[戸田]



1986年
 オルガノ(マレーシア)(現オル
 ガノ(アジア))設立

1991年
 半導体向けの納入が
 拡大



1989年
 オルガノ(タイランド)設立

2003年
 海外展開
 ソリューション
 サービス強化

2005年
 包括ソリューションサービス
 本格化



2005年
 開発センター設立[相模原]



2003年
 オルガノ(蘇州)水処理
 有限公司設立

2005年
 オルガノ・テクノロジー
 有限公司設立[台湾]

2014年
 水熱利用システムによる
 省エネソリューションサービス
 開始



2018年
 新経営理念
 長期ビジョンを
 制定

2010年
 オルガノ(ベトナム)設立

2013年
 合弁会社 PTラウタン・オルガ
 ノ・ウォーター設立
 [インドネシア]

2015年
 合弁会社ムルガッパ・オルガ
 ノ・ウォーター・ソリューションズ設立
 [インド]

創業期 成長期 成熟期 飛躍期

1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010

※グラフは売上高の
 推移を表しています。

オルガノグループの強み

分離精製のシステムとテクノロジー

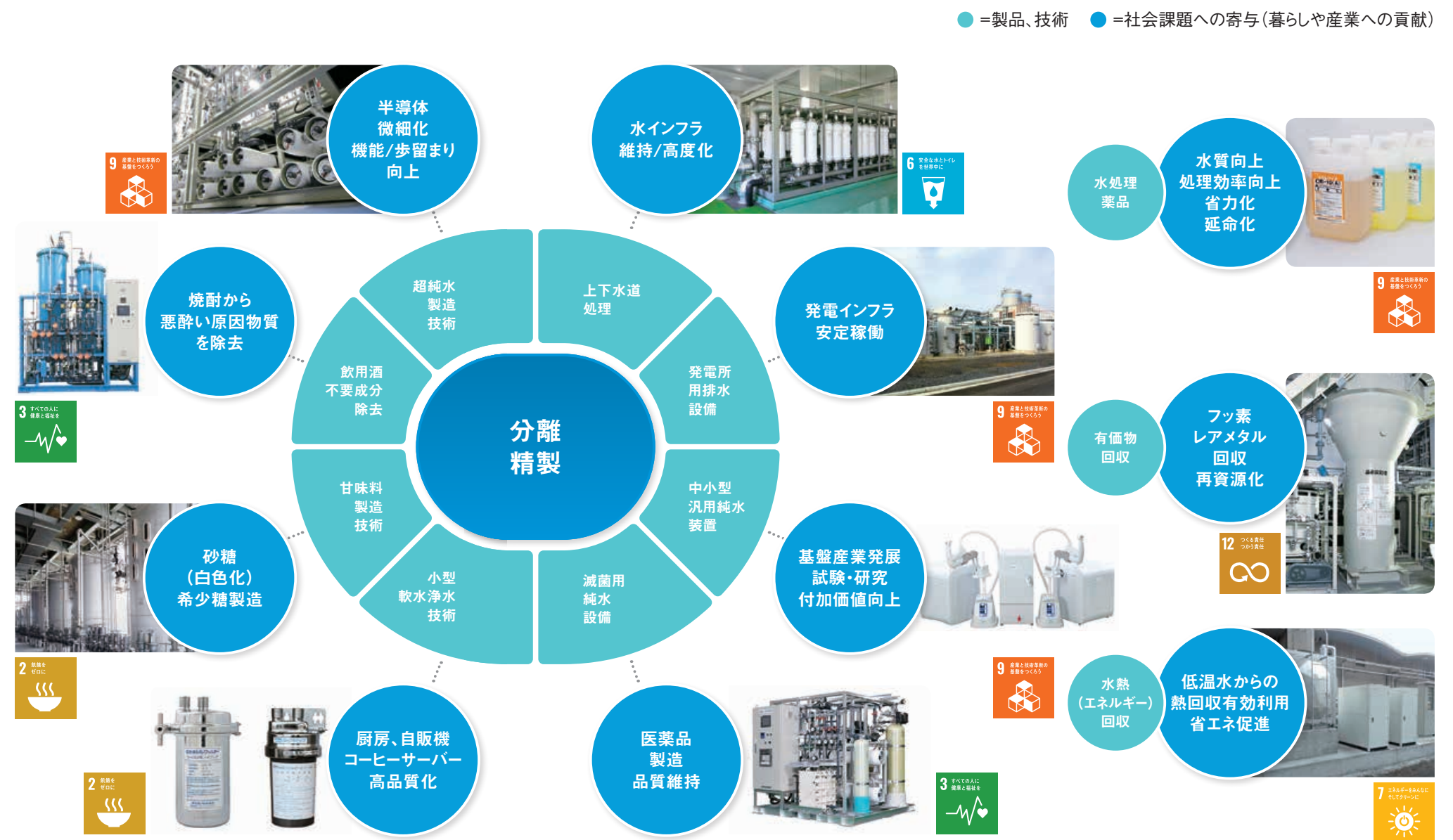
当社の技術は、超純水から排水、各種の溶剤や薬液などさまざまな対象に適用されますが、共通しているのは「不要な成分を分離して除くこと」と「有用成分を高純度化すること」にあります。

これを効率よく、より高度に行うには対象に合わせて、必要な操作を組み合わせた最適なシステムを適用することがポイントになります。産業の発展とともに水へのニーズは高まり、良質の水が大量に必要となりました。その用途によって要求される水質は千差万別です。当社では最新の技術を組み込み、システムとして最適化し、お客様ごとに各々デザインしています。分離精製技術の適用先は純水や超純水製造、各種水処理や砂糖原料、焼酎原料の精製など多岐にわたります。

スマートフォン、液晶テレビ、パソコン、カメラ、金属製品、飲料や薬など、私たちに身近な製品は水なくして作ることはできません。微細な半導体や電気回路を清澄な超純水で洗浄したり、不純物のない安全な水を原料水としたり、モノづくりの分野で水は不可欠なものと言えます。

70年以上、水処理を中心に脈々と受け継がれ、既存分野はもとより、新たな適用分野を拡大している分離精製の技術が当社の強みです。

分離精製技術の社会への貢献



オルガノグループの強み

総合水処理 エンジニアリング企業

当社は分離精製・分析・製造の技術を活かし、半導体産業が求める極めて純度の高い超純水を作る装置をはじめ、各種産業が必要とする用水を供給する装置、生活や工場から出されるさまざまな排水をきれいにする装置など、多様な分野で高品質かつ安定的な処理水を提供する製品を取り揃えています。

また、水処理の総合エンジニアリング企業として、用水から排水まで水処理に関するほぼすべてのお客様のご要望に対応できる技術・サービス体制を構築しています。長期間にわたっての安定的な稼働保証や、効率的なランニング・運転管理の提案、メンテナンスや消耗品供給などサービス体制の確立なども合わせたトータルな提案ができることが当社の強みです。



経営理念

オルガノは水で培った先端技術を駆使して
未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献する
パートナー企業としてあり続けます

Total Engineering

総合水処理 エンジニアリング企業

長期経営ビジョン

付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に、事業領域と展開地域を拡大し、
産業と社会の価値創造と課題解決を推進する製品・サービスを絶えず提供します
昨日までのやり方を、明日に向けて、今日変える人をつくり、
一人ひとりが働きがいと活力に満ちた企業を構築します

目次

イントロダクション

オルガノグループのフィロソフィー	1
地球の水資源	3
オルガノグループの歩み	5
オルガノグループの強み	7

オルガノグループの成長戦略

トップメッセージ	13
価値創造プロセス	17
技術開発担当役員メッセージ	19
財務担当役員メッセージ	21
事業概要	23
水処理エンジニアリング事業	25
機能商品事業	27

オルガノグループのサステナビリティ

サステナビリティマネジメント	29
コーポレート・ガバナンス	31
環境	35
社会	39

コーポレートデータ

財務／非財務情報	43
連結貸借対照表	45
連結損益計算書	46
連結包括利益計算書	46
連結株主資本等変動計算書	47
連結キャッシュ・フロー計算書	48
会社情報	49

【編集方針】

オルガノグループは、中長期的な企業価値向上に向けた取り組みを分かりやすくご理解いただくために、財務情報、経営戦略、事業環境、ESG（環境・社会・ガバナンス）などを一体的に報告するレポートとして、2020年度よりオルガノグループレポートを発行することとしました。

これからもオルガノグループレポートのさらなる充実に努め、ステークホルダーの皆様との対話に役立ててまいります。引き続き、オルガノグループへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書に掲載されている「エコクリスタ、オーファス、みずねつ／水熱、ビューリック、ビューライト、α、オルガノフィルター」は、オルガノ株式会社の登録商標または商標です。

【参考にしたガイドライン】

経済産業省「価値協創ガイダンス」
環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」
ISO26000:2010 社会的責任に関する手引き
GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」

【報告書の対象範囲】

対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日
対象会社：オルガノ株式会社及び
オルガノ株式会社グループ